

Jer

Chapter 48

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

אֶל- הוּי יִשְׂרָאֵל אֱלֹהֵי צְבָאוֹת יְהוָה אָמַר כֹּה- לְמוֹאָב 1
~の-上に ああ イスラエルの 神 万軍の 主 言われた このように- モアブに-ついて
H0413 H1945 H3478 H0430 H3068 H0559 H3541 H4124
הַמְּשָׁנִב הַבִּישָׁה קְרִיטָיִם נִלְכְּדָה הַבִּישָׁה שְׁתִּדָּה כִּי נָבוּ
要塞は 辱められた キルヤタイムは 占領された 辱められた 滅ぼされた なぜなら ネボに
H7156 H3001 H7156 H3920 H3001 H7703

וַיַּחַתָּהּ
そして-打ち砕かれた
H2865

モアブの事について、万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、「ああ、ネボはわざわざいだ、これは滅ぼされた。キルヤタイムははずかしめられて取られ、とりでは、はずかしめられてこわされた。

לְכוּ רָעָה עָלֶיהָ חֲשֹׁבוּ בְּחֻשְׁבוֹן מוֹאָב תְּהִלַּת עוֹדֵי אֵין 2
さあ-行こう 悪を それに-対して 企てた ヘシュボンで モアブの 讃誉は もはや ない
H3212 H2803 H2809 H4124 H8416 H5750 H0369
חֶרֶב תֵּלֵךְ אַחֲרָיו תִּדְמִי מַדְמֵן נִם מְגוּי וַנִּכְרַתְנָהּ
剣が 行く あなたの-後を 黙らせられる マドメンも また- 国民から そして-断ち-絶とう
H2719 H3212 H4086 H1571 H3772

モアブの誉は、消え去った。ヘシュボンで人々はモアブの害を図り、『さあ、この国を断ち滅ぼそう』という。マデメンよ、おまえもまた滅ぼされる、つるぎがおまえを追う。

קוֹל צַעֲקָה מִחוֹרְנַיִם שָׁר וְשָׁבַר נְדוּלָּה 3
大きな 叫びが 破壊と 破壊と 叫びの 声が
H7667 H7701 H2773 H6818

ホロナイムから叫び声が聞える、『荒廃と大いなる滅亡だ』という。

וַנִּשְׁבְּרָהּ מוֹאָב הַשְּׁמִיעוּ עֲקָה [צְעוּרִיָּה] צְעִירִיָּה:
モアブは 碎かれた 叫びを 聞かせた 叫びを 叫びを
H6810 H6810 H2201 H8085 H4124 H7665

モアブは滅ぼされ、叫びはゾアルにまで聞える。

בְּמוֹרֵד כִּי בְכִי יַעֲלֶה-הָ בְּכִי הַלְלוּחִית (הַלְלוּחִית) מַעֲלָה כִּי 5
下り-坂で なぜなら 泣きながら 上る- 泣きながら ルヒトの (ケティブ) 上り-坂の なぜなら
H4174 H1065 H5927 H1065 H3872 H3872 H4608
חֹרְנַיִם צָרִי צַעֲקַת- שָׁבַר שְׁמִיעוּ:
ホロナイムの 敵が 叫びを- 破壊の 聞いた
H8085 H7667 H6818 H2773

彼らは泣きながらルヒテの坂を登る。彼らはホロナイムの下り坂で、『滅亡』の叫びを聞いたからだ。

וְנָסוּ מִלְּטוֹ נַפְשֵׁכֶם וְתַהֲיִינָה כְּעֶרְוֵר בְּמִדְבָּר:
逃げよ 助け 自分の-命を 野の-口バのように そして-なれ 荒野の
H5127 H4422 H5315 H1961 H6176

逃げて、自分の身を救え、荒野の野ろばのようになれ。

אתְּ אַתְּ 7
 あなたも
 וְגַם- 7
 また-
 וּבְאִזְרוֹתֶיךָ 7
 そして-あなたの-宝に
 בְּמַעֲשֶׂיךָ 7
 あなたの-わざに
 בְּתִחְוָהּ 7
 あなたの-信頼の
 יַעַן 7
 の-ゆえに
 כִּי 7
 なぜなら

כַּהֲנֵי 7
 その-祭司たちと
 וּבְנוֹלָהּ 7
 流亡に
 (כְּמוֹשׁ) 7
 ケモシュは
 [כְּמִישׁ] 7
 (ケティブ)
 וַיֵּצֵא 7
 そして-出て-行く
 תִּלְכְּדוּ 7
 捕らえられる

וְשָׂרָיו 7
 そして-その-首長たちは
 [יַחַד] 7
 (ケティブ)
 (יַחְדָּיו): 7
 共に

おまえが、とりでと財宝とを頼みにしたので、おまえも捕えられるからだ。またケモシは、その祭司とつかさたちと共に、捕えられて行く。

וַיָּבֵא 8
 そして-来る
 שָׂדֵד 8
 破壊者が
 אֶל- 8
 ~に
 כָּל- 8
 全ての-
 עִיר 8
 町に
 וְעִיר 8
 そして-町は
 לֹא 8
 ない
 תִּמְלֹט 8
 免れない
 וְאָבַד 8
 そして-滅びる

הָעֵמֶק 8
 谷は
 וְנִשְׁמַד 8
 そして-滅ぼされる
 הַמִּישָׁר 8
 平原は
 אֲשֶׁר 8
 (関係詞)
 אָמַר 8
 言われた
 יְהוָה: 8
 主が

滅ぼす者はすべての町に来る、一つの町ものがれることができない。谷は滅び、平地は荒される、主の言われたとおりである。

תָּנוּ- 9
 与えよ-
 צִיַּן 9
 翼を
 לְמוֹאָב 9
 モアブに
 כִּי 9
 なぜなら
 נָצַא 9
 飛び-去って
 תֵּצֵא 9
 出て-行く
 וְעָרֶיהָ 9
 そして-その-町々は
 לְשִׁמְהָ 9
 荒廢に
 תִּהְיֶינָה 9
 なる

מֵאִין 9
 住む-者なき
 יוֹשֵׁב 9
 者となる
 בְּקֵן: 9
 その-中に

モアブに翼を与えて、飛び去らせよ。その町々は荒れて、住む者はなくなる。

אָרוּר 10
 呪われよ
 עֹשֶׂה 10
 行う-者は
 מְלֹאכֶת 10
 わざを
 יְהוָה 10
 主の
 רְמִיָּה 10
 怠けて
 וְאָרוּר 10
 そして-呪われよ
 מִנְעֵ 10
 控える-者は
 חֶרְבוֹ 10
 その-剣を
 מִדָּם: 10
 血から

主のわざを行うことを怠る者はのろわれる。またそのつぎを押えて血を流さない者はのろわれる。

שְׁאֵן 11
 安らかで-あった
 מוֹאָב 11
 モアブは
 מִנְעוּרָיו 11
 その-若き-時から
 וְשָׁקֵט 11
 そして-静かで-あった
 הוּא 11
 それは
 אֶל- 11
 ~の-上に

שְׁמֵרָיו 11
 その-澄みの-上に
 וְלֹא- 11
 そして-ない-
 הוֹרַק 11
 移し-替えられた
 מִכְלִי 11
 器から
 אֶל- 11
 ~へ
 כְּלִי 11
 器へ
 וּבְנוֹלָהּ 11
 そして-流亡に
 לֹא 11
 ない
 הָלַךְ 11
 行った

עַל- 11
 それ-ゆえに
 כִּן 11
 それだから
 עָמַד 11
 留まった
 טַעְמוֹ 11
 その-味は
 בּוֹ 11
 その-中に
 וְרִיחוֹ 11
 そして-その-香りは
 לֹא 11
 ない
 נִמְרָ: 11
 変わらなかった

ס
 (段落記号)

モアブはその幼い時から安らかで、酒が、沈んだおりの上にとどまって、器から器に、くみ移されなかったように、捕え移されなかったので、その味はなお存し、その香気も変ることがない。

12

צָעִים	לּוֹ	וְשָׁלַחְתִּי-	יְהוָה	נֹאֵם-	בָּאִים	יָמִים	הִנֵּה-	לָזֶן	
傾ける-者を	彼に	そして-わたしは-遣わす-	主の	告げる-	来る	日々が	見よ-	それゆえ	
H6808		H7971	H3068	H5002	H0935	H3117	H2009		
		וְנִפְצוּ:	וְנִבְּלִיהֶם	יְרִיקוּ	וְכִלְיוּ		וְצַעְהוּ		
		砕く	そして-その-瓶を	空にする	そして-その-器を		そして-彼を-傾ける		
				H7324	H3627		H6808		

主は言われる、それゆえ見よ、わたしがこれを傾ける者どもをつかわす日が来る。彼らはこれを傾け、その器をあけ、そのかめを砕く。

13

יִשְׂרָאֵל	בֵּית	בָּשׁוּ	כְּאִשֶׁר-	מִכְמוֹשׁ	מוֹאָב	וְבָשׁ	
イスラエルの	家が	恥じた-ように	ちょうど-	ケモシユの-ゆえに	モアブは	そして-恥じる	
H3478		H0954		H3645	H4124	H0954	
					מִבְּטָחָם:	אַלְמִבֵּית	
					彼らの-頼みの	ベテルの-ゆえに	
					H4009	H1008	

その時モアブはケモシのために恥をかく。ちょうどイスラエルの家はその頼みとしたベテルのために恥をかいたようになる。

14

לְמַלְחָמָה:	חַיִל	וְאִנְשֵׁי-	אֲנַחְנוּ	גְּבוּרִים	תְּאֹמְרוּ	אֵיךְ	
戦いの-ための	力の	そして-戦の-人は	我らは	勇士だ	言うのか	どうして	
H4421	H2428	H0376	H0587	H1368	H0559		

あなたがたはどうして『われわれは勇士だ。強い戦士だ』というのか。

15

יָרְדוּ	בְּחוּרָיו	וּמִבְּחָר	עָלָה	וְעָרְיָהּ	מוֹאָב	שָׁדַד	
下った	その-若者たちは	そして-最良の	上った	そして-その-町々から	モアブは	略奪された	
H3381	H0970	H4005	H5927		H4124	H7703	
			שְׁמוֹ:	צְבָאוֹת	יְהוָה	הַמֶּלֶךְ	נֹאֵם-
			その-名は	万軍の	主	王の	告げる-
			H8034		H3068	H4428	H5002
						H2874	

モアブとその町々を滅ぼす者は上って来、モアブのえり抜きの若者たちは下って殺されたと万軍の主と名のる王が言われる。

16

מְאֹד:	מְהֵרָה	וְרָעָתוֹ	לָבוֹא	מוֹאָב	אֵי־	קָרוֹב	
非常に	急ぐ	そして-その-災いは	来る-のが	モアブの	破滅が-	近い	
H3966			H0935	H4124	H0343	H7138	

モアブの災難は近づいている、その苦難はすみやかに来る。

17

אֵיכָּה	אֹמְרוּ	שְׁמוֹ	יָדְעֵי	וְכֹל	סְבִיבָיו	כָּל-	לּוֹ	גָּדוּ	
どうして	言え	その-名を	知る-者よ	そして-全ての	周りの-者よ	全ての-	彼の-ために	嘆け	
	H0559	H8034	H3045	H3605	H5439	H3605		H5110	
				תְּפָאֲרָה:	מִקָּל	עוֹ	מִטֵּה-	נִשְׁבַּר	
				栄光の	組が-	力の	杖が-	折れたのか	
				H8597	H4731	H5797	H4294	H7665	

すべてその周囲にある者よ、またその名を知る者よ、彼のために嘆いて、『ああ、強き笏、麗しきつえは、ついに折れた』と言え。

18 קִי־ דִּיבּוֹן בַּת־ יִשְׁבֵּת בְּצִמָּא (וּשְׁבִי) [יִשְׁבִי] מִקְבוֹר רָדִי
 なぜなら- ディボンの 娘よ- 住む-者よ 渴きの-中に そして-座れ (ケティブ) 栄光から 下れ
[H1769](#) [H1323](#) [H3427](#) [H6772](#) [H3427](#) [H3427](#) [H3519](#) [H3381](#)

מְבַצְרֶיךָ: שָׁחַת קָרָךְ עָלָה מוֹאָב שָׁרַר
 あなたの-要塞を 滅ぼした あなたに-対して 上って-来た モアブの 破壊者が
[H4013](#) [H7843](#) [H5927](#) [H4124](#) [H7703](#)

デボンに住む者よ、あなたの栄えを離れて下り、かわいた地に座せよ。モアブを滅ぼす者があなたに攻めのぼって来て、あなたの城を滅ぼしたからだ。

19 נָס שְׂאֵלִי עֲרוּעֵר יוֹשְׁבֵת וְצָפִי עֲמָרִי דָרָךְ אֶל־
 逃げる-者と 尋ねよ- アロエルの 住む-者よ そして-見張れ 立て 道の ~の-ほとりに
[H5127](#) [H7592](#) [H6177](#) [H3427](#) [H6822](#) [H5975](#) [H1870](#) [H0413](#)

נִהְיִתָּה: מַה־ אָמְרִי וְנִמְלָטָה
 起こったのか 何が- 言え 免れた-者に
[H1961](#) [H4100](#) [H0559](#) [H4422](#)

アロエルに住む者よ、道のかたわらに立って見張りし、逃げてくる男、のがれてくる女に尋ねて、『何が起ったのか』と言え。

20 (וְזָעְקוּ) [וְזָעְקִין] (וְהִילָלוּ) [וְהִילָלִין] חָתָה קִי־ מוֹאָב הַכִּישׁ
 そして-叫べ (ケティブ) 泣き-叫べ (ケティブ) 打ち砕かれた なぜなら- モアブは 辱められた
[H2199](#) [H2199](#) [H3213](#) [H3213](#) [H2865](#) [H4124](#) [H3001](#)

מוֹאָב: שָׁרַד קִי בְּאַרְנוֹן הַנִּידוּ
 モアブは 略奪された それを アルノンで 告げよ
[H4124](#) [H7703](#) [H0769](#) [H5046](#)

モアブは敗れて、恥をこうむっている。嘆き呼ばわれ。アルノン川のほとりで、モアブは滅ぼされたと告げよ。

21 יַהֲצֵה וְאֶל־ חֲלוֹן אֶל־ הַמִּישֵׁר אֶרֶץ אֶל־ בָּא וּמִשָּׁפֵט
 ヤハツに そして-~の-上に ホロンに ~の-上に 平原の 地に ~の-上に 来た そして-裁きが
[H3096](#) [H0413](#) [H2473](#) [H0413](#) [H4334](#) [H0776](#) [H0413](#) [H0935](#) [H4941](#)

(מִיַּפְעֵת): [מוֹפְעֵת] וְעַל־
 ヂファアトに (ケティブ) そして-~の-上に
[H4158](#) [H4158](#)

さばきは高原の地に臨み、ホロン、ヤハズ、メパアテ、

22 דְּבַלְתַּיִם: בֵּית וְעַל־ נָבוּ וְעַל־ דִּיבּוֹן וְעַל־
 ベト-ディブラタイムに そして-~の-上に ネボに そして-~の-上に ディボンに そして-~の-上に
[H1015](#) [H1769](#)

デボン、ネボ、ベテ・デブラタイム、

23 מְעוֹן: בֵּית וְעַל־ נְמוּלֵבִית וְעַל־ קְרִיָּתַיִם וְעַל־
 ベト-メオンに そして-~の-上に ベト-ガムルに そして-~の-上に キルヤタイムに そして-~の-上に
[H1010](#) [H1014](#) [H7156](#)

キリヤタイム、ベテ・ガムル、ベテ・メオン、

24 עָרֵי כָּל־ וְעַל־ בְּצִרָה וְעַל־ קְרִיּוֹת וְעַל־
 町々に 全ての- そして-~の-上に ボツラに そして-~の-上に ケリヨトに そして-~の-上に
[H3605](#) [H1224](#) [H7152](#)

וְהַקְּרִבּוֹת: הָרְחֻקוֹת מוֹאָב אֶרֶץ
 そして-近きも 遠きも モアブの 地の
[H7138](#) [H7350](#) [H4124](#) [H0776](#)

主は言われる、わたしは彼の横着なのを知る、彼の自慢は偽りで、その行いも偽りである。

וּלְמוֹאָב そして-モアブの-ために H4124	אֵילַיִל わたしは-泣き-叫ぶ H3213	מוֹאָב モアブの-ために H4124	עַל- ~の-ために H1897	כֵּן それだから H7025	עַל- それ-ゆえに H7025	31			
			יִהְיֶה: うめく H1897	קִיר- キル- H7025	אֲנָשִׁי 人々に H7025	אֶל- ~に H0376	אֲזַעֵק わたしは-叫ぶ H0413	כָּלָה 全ての H2199	H3605

それゆえ、わたしはモアブのために嘆き、モアブの全地のために呼ばれる。キルヘレスの人々のためにわたしは悲しむ。

נְטִישְׁתַּיִךְ あなたの-枝は H5189	שִׁבְמָה シブマの H7643	הַנָּפֶן ぶどうの-木よ H1612	לְךָ あなたの-ために H1058	אֲבָכָה- わたしは-泣く- H1058	יַעְזֵר ヤゼルの H3270	מִבְּכִי 泣きよりも H1065	32		
וְעַל- そして-~の-上に H7019	קִיץ あなたの-夏の-果物に H7019	עַל- ~の-上に H5060	נָגַעַי 届いた H3270	יַעְזֵר ヤゼルに H3270	יָם 海の H3220	עַד ~まで H5704	יָם 海を H3220	עָבַר 渡った H3220	
				נָפַל: 襲った H5307	שָׂדֶה 略奪者が H7703	בְּצִירְךָ あなたの-収穫に H1210			

シブマのぶどうの木よ、わたしはヤゼルのために泣くのにまさっておまえのために泣く。おまえのつるは延びて海を越え、ヤゼルに及んだ。おまえの夏の実と、その収穫を滅ぼす者が襲ってきた。

מוֹאָב モアブの H4124	וּמֵאֶרֶץ そして-地から H0776	מִכַּרְמֶל カルメルから H3759	וְנִיל そして-楽しみが H3759	שְׂמֵחָה 喜びと H8057	וְנִאֲסָפָה そして-取り-去られた H0622	33			
לֹא ない H3808	הִיָּדָה 叫びを H1959	הִיָּדָה 叫びを H1959	יִדְרֹךְ 踏む-者は H1869	לֹא- ない- H3808	הִשְׁבַּתִּי わたしは-絶やした H3808	מִיָּבֵי 酒-ぶねから H3342	וַיִּין そして-ぶどう-酒を H3196		
								הִיָּדָה: 叫びではない H1959	

喜びと楽しみは、実り多いモアブの地を去った。わたしは、ぶどうをしぼる所にも酒をなくした。楽しく呼ばわって、ぶどうを踏む者もなくなった。呼ばわっても、喜んで呼ばれる声ではない。

מִצְעֹר ツォアルから H6820	קוֹלָם 声を H5414	נִתְנָו 上げた H5414	יָהִן ヤハツまで H3096	עַד- ~まで H5704	אֶלְעָלָה エルアレまで H0500	עַד- ~まで H5704	חֶשְׁבוֹן ヘシュボンの H2809	מִזְעַקָּת 叫びから H2201	34	
	יְהִיוּ: なる H1961	לְמִשְׁמֹת 荒廢に H4923	נְמִרִים ニムリムの H5249	מֵי 水も H4325	גַּם- また- H1571	כִּי なぜなら H1571	שְׁלִשָּׁה 三歳の H7992	עֹגֶלֶת 雌牛よ H2773	חֶרְנַיִם ホロナイムまで H2773	עַד- ~まで H5704

ヘシボンとエレアレは叫ぶ。ヤハツに至るまで、ゾアルからホロナイムとエグラテ・シリシヤに至るまで、彼らはその声をあげる。ニムリムの水も絶えたからである。

בְּמָה 高さ-所に H1116	מַעְלָה 上る-者を H5927	יְהוָה 主の H3068	נֹאֵם- 告げる- H5002	לְמוֹאָב モアブに-おいて H4124	וְהִשְׁבַּתִּי そして-わたしは-絶やす H4124	35
				לְאֱלֹהֵיוּ: その-神々に H0430	וּמִקְטִיר そして-香を-焚く-者を H0430	

主は言われる、わたしは犠牲を高さ所にささげ、香をその神にたく者をモアブのうちに滅ぼす。

וְלִבִּי יְהוָה כְּחִלְלִים לְמוֹאָב לִבִּי כֹן עַל- 36
そして-わが-心は 鳴る 笛の-ように モアブの-ために わが-心は それだから それ-ゆえに
[H1993](#) [H2485](#) [H4124](#)

כֹן עַל- יְהוָה כְּחִלְלִים חֶרֶשׁ קִיר- אֲנָשִׁי אֵל-
それだから それ-ゆえに 鳴る 笛の-ように ヘレスの キル- 人々に-対して ~に-対して
[H1993](#) [H2485](#) [H7025](#) [H7025](#) [H0376](#) [H0413](#)

אֲכָרוּ: עָשָׂה יִתְּרָת
滅びた 蓄えた 余剰の-ものは
[H0006](#) [H3502](#)

それゆえ、わたしの心はモアブのために笛のように嘆き、わたしの心はキルヘレスの人々のために笛のように嘆く。彼らの獲た富が消えうせたからである。

יָדַיִם כָּל- עַל נִרְעָה זָקֵן וְכָל- קָרְחָה רֹאשׁ כָּל- כִּי 37
手に 全ての- ~の-上に 切られた ひげは そして-全ての- 刷られ 頭は 全ての- なぜなら
[H3027](#) [H3605](#) [H1639](#) [H2206](#) [H3605](#) [H7144](#) [H3605](#)

שָׁק: מְתַנִּים וְעַל- נִדְרָת
荒布が 腰に そして-~の-上に 傷があり
[H8242](#) [H4975](#) [H1417](#)

人はみな髪をそり、皆ひげをそり、みな手に傷をつけ、腰に荒布を着ける。

כִּי- מִסְפָּד כָּל־הָ וּבְרַחֲבֵתֶיהָ מוֹאָב גִּנּוֹת כָּל- עַל 38
なぜなら- 喰き 全ての-ものは そして-その-広場に モアブの 屋上に 全ての- ~の-上に
[H4553](#) [H3605](#) [H7339](#) [H4124](#) [H1406](#) [H3605](#)

יְהוָה: נֹאֵם- בּוֹ חֶפְזָן אֵין- כְּכֵלִי מוֹאָב אֶת- שִׁבְרֵתִי
主の 告げる- それに 喜びの ない- 器の-ように モアブを (目的格) わたしは-砕いた
[H3068](#) [H5002](#) [H2656](#) [H0369](#) [H3627](#) [H4124](#) [H0853](#) [H7665](#)

モアブではどこの屋根の上も、広場も、ただ悲しみに包まれている。これは、わたしが、だれもほしがらない器のようにモアブを砕いたからであると主は言われる。

בּוֹשׁ מוֹאָב עֲרַף הַפְּנֵה- אֵיךְ הִילָלוּ חֹתָהּ אֵיךְ 39
恥じて モアブは 背を 向けたのか- どうして 泣き-叫べ 打ち砕かれたのか どうして
[H0954](#) [H4124](#) [H6203](#) [H6437](#) [H3213](#) [H2865](#)

ס: סְבִיבָיו: לְכָל- וְלִמְחֹתָהּ לְשָׁחַק מוֹאָב וְהָיָה
(段落記号) 周りの-者に-とって 全ての- そして-恐怖に 嘲りに モアブは そして-なった
[H5439](#) [H3605](#) [H4288](#) [H7814](#) [H4124](#) [H1961](#)

ああ、モアブはついに滅びた。人々は嘆く。ああ、モアブは恥じて顔をそむけた。モアブはその周囲のすべての者の笑い草となり恐れとなった」。

כַּנְפָּיו וּפָרָשׁ יְדָאָה כַּנְּשֵׁר הִנֵּה יְהוָה אָמַר כֹּה כִּי- 40
その-翼を そして-広げる 舒う 鵬の-ように 見よ 主は 言われた このように なぜなら-
[H3671](#) [H6566](#) [H1675](#) [H5404](#) [H2009](#) [H3068](#) [H0559](#) [H3541](#)

מוֹאָב: אֵל-
モアブに ~に-対して
[H4124](#) [H0413](#)

主はこう言われる、「見よ、敵はわしのように速く飛んできて、モアブに向かって翼をのべる。

41
 בְּיוֹם מוֹאֵב גְּבוּרֵי לֵב יְהוָה וְהִמְצַדּוֹת הַקְּרִיּוֹת נִלְכְּדָה
 日に モアブの 勇士たちの 心は そして-なる 奪われた そして-要塞は 町々は 占領された
[H3117](#) [H4124](#) [H1368](#) [H1961](#) [H8610](#) [H4679](#) [H7152](#) [H3920](#)

מִצְרָה אִשָּׁה כָּל־בְּלִיַּת הַחַיָּה
 産みの-苦しみの 女の 心の-ように その
[H0802](#) [H1931](#)

町々は取られ、城は奪われる。その日モアブの勇士の心は子を産む女の心のようになる。

42
 הַגָּדוֹל יְהוָה עַל-כִּי מֵעַם מוֹאֵב וְנִשְׁמַד
 大きく-した 主に-対して ~に-対して なぜなら 民から モアブは そして-滅ぼされる
[H1431](#) [H3068](#) [H4124](#) [H8045](#)

モアブは滅ぼされて、国を成さないようになる。主に敵して自ら誇ったからである。

43
 יְהוָה נֹאֵם מוֹאֵב יוֹשֵׁב עָלֶיךָ וְנָפַח וְנָפַח פָּחַד
 主の 告げる- モアブの 住む-者よ あなたの-上に そして-畏が そして-落とし-穴と 恐れと
[H3068](#) [H5002](#) [H4124](#) [H3427](#) [H6354](#) [H6343](#)

主は言われる、モアブに住む者よ、恐れと、穴と、わななどがあなたに臨んでいる。

44
 וְהִעֲלָה הַפָּחַת אֶל-יַפְלֵי הַפָּחַד מִפְּנֵי (הַנִּיִּס) הַנִּיִּס
 そして-上-者は 落とし-穴に ~の-中に 落ちる 恐れ of ~の-前から 逃げる-者は (ケティブ)
[H5927](#) [H6354](#) [H0413](#) [H5307](#) [H6343](#) [H6440](#) [H5127](#) [H5211](#)

אֶל-אֵלֶיהָ אֲבִיא מִן-הַפָּחַת יִלְכָּד
 ~の-上に それに わたしは-もたらず なぜなら- 畏に 捕らえられる 落とし-穴から ~から
[H0413](#) [H0413](#) [H0935](#) [H3920](#) [H6354](#)

יְהוָה נֹאֵם פְּקֻדָּתָם שָׁנָה מוֹאֵב
 主の 告げる- 彼らの-罰の 年を モアブの-上に
[H3068](#) [H5002](#) [H6486](#) [H8141](#) [H4124](#)

恐れをさけて逃げる者は穴におちいり、穴をよじ上って出る者は、わなに捕えられる。わたしがモアブに、その罰せられる年に、これらのものを臨ませるからであると主は言われる。

45
 מִחֶשְׁבוֹן יָצָא אֵשׁ כִּי-נָסִים מִכֹּחַ עָמְדוּ חֶשְׁבוֹן בְּצֵל
 ヘシュボンから 出た 火が なぜなら- 逃げる-者たちは カ-尽きた 立った ヘシュボンの 影に
[H2809](#) [H3318](#) [H0784](#) [H5127](#) [H5975](#) [H2809](#) [H6738](#)

בְּנֵי וְקָדְקַד מוֹאֵב פָּתָה וְהֵאכְלָה סִיחֹן מִבֵּין וְלֶהָבָה
 息子たちの そして-頭頂を モアブの 額を そして-食らった シホンの ~の-中から そして-炎が
[H6936](#) [H4124](#) [H6285](#) [H0398](#) [H5511](#) [H0996](#) [H3852](#)

שָׂאוֹן
 騒ぎの
[H7588](#)

逃げた者はヘシュボンの陰に、力なく立ちどまる。ヘシュボンから火が出、シホンの家から炎が出て、モアブの額、騒ぐ人々の頭の頂を焼いたからだ。

46
 לָקַחוּ כִּי-כְמוֹשׁ עַם-אֲבָב מוֹאֵב לָךְ אֵי-
 連れて-行かれた なぜなら- ケモシユの 民は- 滅びた モアブよ あなたに ああ-
[H3947](#) [H3645](#) [H0006](#) [H4124](#) [H0188](#)

בְּשִׁבְיָה וּבְנִתְיָה בְּשִׁבְיָה בְּנֵיךָ
 捕囚に そして-あなたの-娘たちも 捕囚に あなたの-息子たちは
[H7633](#) [H1323](#)

モアブよ、おまえはわざわざだ。ケモシの民は滅びた。おまえのむすこらは捕え移され、おまえの娘らも捕え行かれたからである。

